

講義名	19 - 中国企業論/15 - 地域ビジネス研究(中国)			授業形態	
担当教員	潘 志仁	開講期・曜日・時間	後期 水曜日 2 時間		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

【対面授業・オンライン共通】
 中国経済が改革開放後、驚異的経済成長をしたのはだれでも知っている。そして、その経済成長が、経済の生産活動を担う企業の成長によってもたらされたものであることも確かである。しかし、中国企業の成長についてのわれわれの理解はあまりに片断である。中国企業がなぜ急成長できたのか、実際どのように急成長してきたのかを明らかにするのが、この講義のねらいである。
 本講義はケーススタディを採用し、「事実が小皿より奇なり」というが、本講義を受講すれば、「企業成長の事実は企業成長の理論より奇なり」といなくなる。本講義を受講することによって、企業成長の理論を読んでわからない経営実態を知ることができる。本授業は次の中国企業をケーススタディとして取り上げるが、途中、講義する順番が変わりうることもあるかもしれない。

到達目標

【対面授業・オンライン共通】
 講義の到達目標は、基礎学習を通じて、
 (1) 中国企業の成長特徴
 (2) 中国企業の経営モデル
 (3) 中国企業経営者のリーダー全体像を把握することができるようになる

提出課題

【対面授業・オンライン共通】
 中間課題
 期末課題

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

【対面授業・オンライン共通】
 授業中における講評と解説の実施

評価の基準

【対面授業・オンライン共通】
 中間課題：40点
 期末課題：40点
 授業へのコミットメント（双方向の質疑応答）20点

履修にあたっての注意・助言他

遠学困難者向けに別途オンライン授業を実施する。
 「遅刻する」、「授業中の出入りする」、「私語する」、「居眠りをする」と大人の態度と行動を遵守できない学生には、受講を遠慮願う。
 積極的に質問、発言する学生は、大歓迎する。

教科書

・「使用しない」。

参考文献

その他

授業計画

- 【対面授業・オンライン共通】
1. 選定する中国企業のプレゼンス
 2. 通信機器大手のファーウェイ(1)
技術と研究開発推進のビジネスモデル
 3. 通信機器大手のファーウェイ(2)
ユニークな採用・訓練・報酬システム
 4. 通信機器大手のファーウェイ(3)
価値創造のシステム
 5. 通信機器大手のシャオミ(1)
製造戦略
 6. 通信機器大手のシャオミ(2)
イノベーションシステム
 7. 通信機器大手のシャオミ(3)
ハイパーチェンシステム
 8. 通信機器大手のシャオミ(4)
ビジネスモデル
 9. 家電大手のハイアール(1)
外国技術導入と高起点経営
 10. 家電大手のハイアール(2)
競争システムの人事評価の明確
 11. 家電大手のハイアール(3)
製品開発戦略
 12. EV自動車メーカー(1)
中国におけるEV自動車の生産と開発の現状と中国政府の狙い
 13. EV自動車メーカー(2)
EV自動車メーカーの開発戦略
 14. EV自動車メーカー(3)
EV用バッテリー開発と充電インフラの整備
 15. 中国企業の成長特徴
模倣から創造へ、後発型成長、市場主義型経営

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> I: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="checkbox"/> O: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E: グループワーク
<input type="checkbox"/> C: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> K: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【対面授業とオンライン共通】
 予習では、事前に教員が指定する範囲を読んで、「ほんとうかな」、「ちょっとおかしいよ」、「それはちがうじゃないか」とマークをつけて、授業中で質問を用意しておこう(2時間)。
 復習では、「なにがわかった?」、「なにがまだわからなかったか」と改めて考え、教員に質問しよう(2時間)。
 上述したような学習目標を達成するためには、予習と復習に必要な4時間を確保してください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

【対面授業とオンライン共通】
 本講義は、特に本学サイロ外にある「企業や組織の運営仕組みを自ら主体的な立場から的確に理解し、身につけた知識・能力・資格等を生かして、組織メンバーと外部関係者とも協力的に働きかけ、戦略的な計画立案と実行しながら、時代の要請にも応えつつ、柔軟で機敏に変革する視野と能力をも持って実行できる」を念頭に、内容を構成する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

遠学困難者向けに別途オンライン授業を実施するが、オンライン授業は動画配信によって実施する。授業動画のURL、配布資料など、必要連絡はRyukaポータル上の講義連絡で行う。

実務経験の有無及び活用

備考

オフィスアワー：水、木曜日12時10分から13時
 研究室メールアドレス：Zhiran_Pan@red.unds.ac.jp